

# 町立図書館 町史だより



## にしはらのことば ②

『西原町史』第8巻・資料編7「西原の言語」の発刊に向けておこなった調査の中から、今回は、植物についてのことばをご紹介します。

### 木

「木」は西原のことばでは、キーといいます。沖縄本島のことばでも「木」をキーという集落が多くみられますが、沖縄本島北部の国頭村や大宜味村ではヒーという集落もあります。

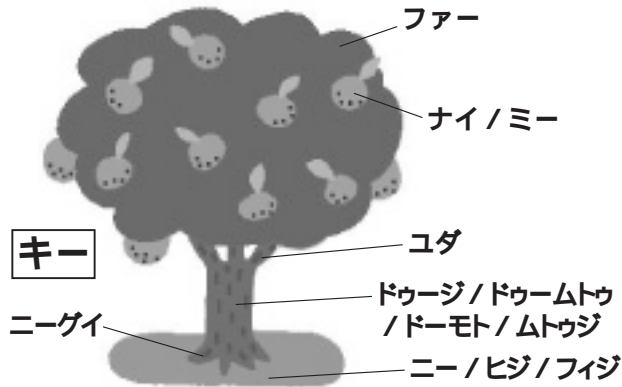
### 葉

木や草、花の「葉」は、ファーといいます。西原を含む沖縄本島中南部のことばではハーという集落が多くみられますが、西原のことばではファーです。この他の地域をみると、沖縄本島北部の名護市や今帰仁村、本部町、伊江村ではパーといい、国頭村や大宜味村の一部の集落では<sup>P</sup>ファーといいます。

### 根

西原のことばで、植物の「根」はニーといいます。これは沖縄のことばと共通しています。また、木の切り株や地上に見える木の根をさす「根っこ」のことはニーグイといい、根の先端の「根毛」とよばれる部分はヒジやフィジといいます。

この他に、「枝」はユダ、「実」はナイやミーといい、「幹」はドゥージやドゥームトゥ、ドームト、ムトゥジなどとといいます。



### 参考文献

・『名護市史本編・10 言語 - やんばるの方言 - 』名護市史編さん委員会